# 原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(旭川地区) (2024年2月検針分)

旭川ガス株式会社 (小売登録番号:B0003)

当社では、本日確定した2023年9月から2023年11月の平均原料価格に基づき、2024年2月検針分のガス料金(単位料金)を、2024年1月検針分に比べ1㎡あたり1.43円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり15㎡ご使用)への影響は、2024年1月検針分と比較して、22円の引き上げとなります。

なお、2023年2月検針分のガス料金から、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた値引きは1㎡あたり30円反映されていましたが、2023年10月検針分より1㎡あたり15円の値引きとなります。

〇一般契約料金 (消費税込)

<u> </u>							
	使用量区分	基本料金 (円/月)	単位料金(円/㎡)		影響額		
	(文//) (大//) (T//)		2月	1月	(円/m³)		
料金表A	0㎡から 18㎡まで	876.70	201.56	200.13	1.43		
料金表B	18㎡を超え139㎡まで	1,483.90	168.57	167.14	1.43		
料金表C	139㎡を超える場合	1,985.50	164.96	163.53	1.43		

(注)各月のご使用量に応じて、A~Cの各料金が適用されます。

### ○標準家庭における影響

(消費税込)

1ヶ月のご使用量	2月のガス料金	1月のガス料金	影響額
15 <b>㎡</b>	3,900 円	3,878 円	+22 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成23年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

## \*ガス料金の計算方法



(円未満切り捨て)

# <参考資料>

# 1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9788 + プロパン平均価格 × 0.0233

90,700 (円/t) × 0.9788 + 92,160 (円/t) × 0.0233

= 90,920 (円/t)(10円未満四捨五入)

### ■原料価格の動向

(円/t)

	2023年9月~2023年11月 (2月検針分)	2023年8月~2023年10月 (1月検針分)	基準平均原料価格		
平均原料価格	90,920	89,270	50,150		
LNG平均価格	90,700	89,220			
プロパン平均価格	92,160	83,420			

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

= 90,920 ( $\mathbb{H}/t$ ) - 50,150 ( $\mathbb{H}/t$ )

= 40,700 (円/t)(100円未満切捨て)

### 2.単位料金の調整について

## <単位料金の算出式>

単位料金 = 基準単位料金 + 単位料金調整額

単位料金調整額 = 0.081 (円/m) × 原料価格変動額 / 100 (円/t) × (1+消費税率)

=  $0.081 \ (\text{H}/\text{m}) \times 40,700 \ (\text{H}/\text{t}) / 100 \ (\text{H}/\text{t}) \times 1.1$ 

= 36.26 (円/㎡) 小数点第3位切捨て

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1mあたり0.081円調整します

(円/m³)

	基準単位料金	単位料金調整額	2月単位料金
料金表A	180.30		201.56
料金表B	147.31	21.26	168.57
料金表C	143.70		164.96

(消費税込)

※政府の支援で、15円/㎡が値引きされています

### 【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1㎡あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(50,150円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1 m あたり0.081円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。